

# YMCA News

12



## こども人権プロジェクト



こんにちは!こどもの人権プロジェクト代表のあとむです!今月12月4日から10日は人権週間ということでこどもの人権プロジェクトのこれまでの取り組みとこれからについて紹介したいと思います。

こどもの人権プロジェクトは、岩手県弁護士会の有志の皆さんからのお声がけをきっかけに2022年に発足しました。「人権」と聞くと堅く、難しい印象を持ちますが、リーダーの私たちだからこそ重い空気ではなく、明るく、楽しく子どもたちが「こどもの人権」について触れる機会をつくり、私たちも「人権」への理解を深めていこうと活動が始まりました。

1年目は、人権標語を岩手県内の小学生から募集し、2年目は、集まった標語を読み札としてカルタにしようと思案を得て、県内の7つの高校の美術部の学生に協力していただき、素敵な絵札が完成しました。3年目には集めた標語、絵札をカルタとしてかたちにするために盛岡さんさ踊りや大学の学園祭に焼きそばの屋台を出店し、制作費を集めました。そして、こどもの人権カルタが完成しました。今年度は、この人権カルタを用いてYMCA内外の学童に通う子どもたちや岩手県の小学校への人権

カルタの普及に力を入れていきます。今年の2月には、一関市にあるフリースクール「虹の学園」を訪問し、ワークショップを開催しました。こどもたちのカルタを楽しむ姿やたくさんの笑顔がとても印象的でした。また、先月開催した北松園小でのワークショップは、多くの子どもたちの参加に加え、保護者の方にも人権カルタを知ってもらう機会となりました。こどもたちが楽しみながら人権について理解を深める。そして、それが周囲の大人の理解へと繋がる。このように、こどもが中心となって人権の輪がどんどんと広まっていけば良いと考えています。今後も盛岡市内の小学校でワークショップを実施することを予定しており、たくさんのこどもたち、リーダーに人権について知ってもらいたいです。

これからも、こどもの人権プロジェクトの活動の認知度を高め、「自分を大切にするように相手のことも大切にする」、「自分の好きなものを好きだと言えること」などという人権の根底の部分を盛岡YMCA内外へ広めていきたいと思っています。そして、来年度も次の代へと引き継ぎ、これまでの経験や様々な人とのつながりを大切にしながら、活動を続けていきたいです。

岩手県立大学3年 小田原 亜子 (あとむリーダー)

### 盛岡 YMCA の使命

私たち、盛岡YMCAは、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、こども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. こどもたちの個性を大切に、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。





ぶるぶるっ！去年の今頃はこんなに寒かったか？と寒さにおびえているハムです！

10月26日「盛岡市動物公園ZOOMO」にて野外活動を行ってきました！当初は、都南つごいの森で「焼き芋大会」を行う予定でしたが、相次ぐクマの出没により、安全面を考慮し「ZOOMOでの動物園散策」に変更となりました。

集合時は「僕は動物園よりも水族館派」などと話す子もありましたが、バス内でのプログラムを通して動物たちと仲良くなりたいという気持ちが高まり、ZOOMOに到着すると、興味津々で動物たちの様子を見て回る姿が印象的でした！お昼には、午前中に散策しながら取り組んだ「自分たちだけの動物園を作ろう！」というプログラムを通して、発見した動物を見せ合い、みんなで盛り上がる事ができました。午後は、それぞれのグループごとに午前中に見逃した動物を見に行ったり、広場でフリータイムを楽しんだりして過ごしました。その中で僕のグループの子どもたちは、サイの生活の様子にびっくりしたり、フリスビーや鬼ごっこをしたり、全力で遊び、とびっきりの笑顔を見せてくれました！みんなのやりたいことが叶ったとても素敵な時間となりました！楽しかった～！！



活動直前に突然の変更でしたが、子どもたちに楽しんでもらおう！一緒に楽しもう！とリーダーたちで協力することができた野外活動でした。11月の野外活動も一緒に楽しみましょう！！

岩手大学2年 本間 唯斗（ハムリーダー）



こんにちは！キャラメルです！11月20日（木）に岩手県庁でこどもの人権プロジェクトの表敬訪問に行ってきました。こどもの人権プロジェクトチームからは、アトムリーダー、おむリーダー、ピンリーダー、キャラメルリーダーの4名、魚住理事長、濱塚総主事、もりおかワイズメンズクラブの長岡会長、県議会議員の福井議員で訪問しました。これまでの活動のご紹介や達増知事との懇談などを行いました。緊張しながらも、時折笑顔も見られ、穏やかな雰囲気の中で活動報告を行うことができ、知事へこどもの人権カルタをお渡しすることもできました。知事からは、本プロジェクトの継続的な取り組みに対し、感謝のお言葉をいただきました。また、実際にこどもの人権カルタをご覧になりながら、絵札が細かい部分まで丁寧に描かれていることに注目してくださったり、標語の一つである「ネットでの誹謗中傷よくないよ」をご覧になり、「現代に必要なとても大切な視点ですね」などと感想を述べられました。

こどもの人権プロジェクトの活動は、4年前からボランティアリーダーが主体となり地道に続けてきた活動であり、もりおかワイズメンズクラブの皆さんや岩手弁護士会有志の皆さんなど様々



な方々のおかげで進むことができた活動でもあります。日頃から支援してくださる方への感謝を忘れずに、今後の活動も引き続き頑張っていきたいと思います。

盛岡大学4年 十文字 春菜（キャラメルリーダー）



11月3日、岩手県営運動公園にて《秋のサッカー大会》を開催しました！天候を考慮し、午前からの短縮開催となりましたが、急な変更にもかかわらずご理解・ご協力をいただきありがとうございました。当日はなんと...子どもたち60名、保護者の皆様24名、大学生ボランティアリーダー25名、総勢109名が参加してくれました！笑顔と元気が溢れる、とても賑やかな大会でした！

最初は少し雨が降っていましたが、みんなの元気パワーで雨も止み、最後まで楽しい時間を過ごすことができました。

保護者の皆さんvs子どもたちでは、お父さんお母さんのボールを一生懸命に追いかける子ども達の姿が見られました！また、親子で笑い合う姿がたくさん見られ、心温まるひとときとなりました。ご参加いただいた皆さま、本当にありがとうございました！サッカーを通して、また一緒に楽しい時間を過ごせることを楽しみにしています！

盛岡YMCA 盛南センタースタッフ 宮澤 秋彦（シュリンプリーダー）







10月19日(日) YMCA向中野センターにて、子ども13名とリーダー10名で、10月サンデースクール「つくってたおそう!ゴーストバスターズ!」を行いました。子どもたちは来たときから思い思いの仮装をしていて、ハロウィンの雰囲気を楽しみにしている様子がうかがえました。

まずは、各グループでハロウィンにちなんだグループ名を決めるアイスブレイクを行いました。その後、おばけに扮したリーダーが登場すると、驚きつつもリーダーに攻撃を仕掛ける子どもが多くいました。工作では、紙コップと風船で作るシューターや、新聞紙を丸めた柄と段ボールで作ったつばをつけた剣、透明なストローにビーズやデコレーションボールを入れて作るシャカシャカステッキなど、子どもたちはそれぞれが作りたいものを自由に選び、楽しみながらも、時には真剣な表情で工作に取り組んでいました。工作後は、子どもたち一人一人の個性が反映されたハロウィンアイテムを使って、2つのゲームを行いました。一つ目はシューターゲームです。子どもたちがおばけやつつけ隊となり、おばけに乗っ取られたグループのリーダーを、シューターを使って攻撃しました。二つ目はピニャータです。子ども同士で協力しながら、お菓子が入ったピニャータを豪快に叩き壊す様子が印象的でした。

ハロウィンならではの工作やプログラムを通じて、子どもたちの笑顔やかかわりがたくさん見られたサンデースクールだったと思います。この日の出来事が、子どもたちにとって楽しい思い出となっていれば嬉しいです!

岩手県立大学2年 上野 紗衣 (アルパカリーダー)



盛岡YMCAの活動は、地域のさまざまな団体に支えられています。代表的な団体は、ワイズメンズクラブです。国際的な奉仕団体でYMCAの支援をすることを中心に地域社会の奉仕を行うクラブです。世界には約1600のクラブがあります。もりおかワイズメンズクラブは2007年に設立され、現在14名のメンバーが盛岡YMCAのユースリーダーの育成等のサポートをしてくださっています。

「岩手サークルオブフレンズ」は岩手在住の外国人の皆さんが中心のボランティア団体です。チャリティーコンサート等を通して、台風や津波、地震、山林火災などの被災地の支援を行っています。

10月26日(日) 岩手サークルオブフレンズが企画した大通りのハロウィンパレードにもりおかワイズメンズクラブのメンバーや、ユースリーダーが参加し、交流を深めました。



盛岡YMCAでは、年末の「ジュニアスキーキャンプ」年始の「ダイナミックスキーキャンプ」1月の「サポートプログラム」2月の「日帰りスキー教室」の開催に向けて、リーダーのトレーニングが行われてます。キャンプに参加するリーダーは、「プログラム理解」「キリスト教理解」「スキー指導法」「安全理解」「スキー実技」など5つのリーダートレーニングに出席しなければなりません。

11月18日(日) 仁王地区活動センターに約40名のリーダーが集合し、小川嘉文チャイルドケア事業部統括(サルリーダー)、武田悠向中野センターセンター長を講師に、「プログラム理解」を受講しました。

こどもたちが楽しむには、まずリーダー自身も楽しむことを様々なゲームを通して実感してもらいました。







11月18日(日) 市内、大沢川原にある野球コートでリーダーソフトボール大会が開催されました。1年生から4年生、さらには埼玉から駆け付けたOGなど、約40名が集合。熊も逃げ出すような大声で約4時間楽しみました。普段はこどもたちに寄り添い安全を確保し、楽しませることに注意をはらわなければならないリーダーたちですが、この日は、すっかり童心に帰ったようでした。お昼は、もりおかワイズメンズクラブの長岡さんが「富士宮焼きそば」をふるまって下さいました。多忙のリーダーたちは、ソフトボール大会終了後、スキークャンプのリーダートレーニングへと向かっていきました。

## 盛岡YMCAリーダー紹介 36



みなさん、こんにちは! 11月に岩手で雪が降ってビビっている、岩手大学理工学部2年生のカニカマです!

私は現在、大学で社会基盤・環境コースというコースに所属していて、建設工学・環境工学・防災工学の3工学を中心に学んでいます。学んでいると言っても、専門的な知識を身に着けるのは来年からで、この大学2年間では3工学の基礎となる物理学やコンクリート工学などを学んできました。



YMCAに所属しているリーダーの多くは将来教職員になったりと、子どもに関わる仕事に就く人が多いと思います。しかし、私は教職員になるわけでもなく、将来何をしたいか、何になりたいかすらも決まっておりません。それなのに、自分がなぜYMCAに入ったかという、少年時代に一度スキークャンプでお世話になったというのも一つですが、大きな理由として「視野を広げるために、できることは何でもやろう!」という意識を持つことができたからです。

「小さい頃にやっておいて良かった」、逆に「あの時あれをやっていたら…」と思うことが何度もありました。「何かを始めるのに遅すぎることはない」、イギリスのスタンリー・ボールドウィンのこの言葉に対し、自分は「それでも早く始めるに越したことはない」と加えたいです。それだけ小さい頃の経験は大切なものだと思われ、歳を取って気づかされました。折角YMCAというチャレンジできる場が与えられているので、自分もいちリーダーとして、また人として一皮も二皮もむけるように努力を重ねたいと思います!

岩手大学2年 上釜 一記(カニカマリーダー)

2025年度 10月 寄付者 (敬称略)

2025年度 維持会費

四季の子ども村 川坂 保宏、上條 直美、上中 優奈

最新情報はこちらでチェックできます!



ホームページ



facebook



instagram

## 12・1月活動案内



## 12月

サッカー	木曜	12/4、11、18
	幼児	12/6、13、20
	土曜小学生	
体育教室		12/6、13、20
習字教室		12/2、9、16

水泳	月曜	12/1、8、15、22
	水曜	12/3、10、17、24
	木曜	12/4、11、18
	金曜	12/5、12、19
英会話教室	水曜	12/3、10、17、24(補講)
	金曜	12/5、12、19、26

## 【その他の12月の開催予定イベント】

・12月27日(土)～29日(月)：ジュニアスキークャンプ

## 1月

サッカー	木曜	1/22、29
	幼児	1/17、24、31
	土曜小学生	
体育教室		1/17、24、31
習字教室		1/20、27
ちきゅうと、あそぼう。		1/25

水泳	月曜	1/19、26
	水曜	1/21、28
	木曜	1/22、29
	金曜	1/23、30
英会話教室	水曜	1/21、28
	金曜	1/23、30

## 【その他の1月の開催予定イベント】

・1月10日(土)～12日(月・祝)：ダイナミックスキークャンプ  
・1月18日(日)：サポートプログラム

## 表紙の写真から



待ち合わせの場所の県庁1階の県民室に行ってみると、普段のジャージとはうってかわったスーツ姿。まるで企業の就職ガイダンスの会場に来たみたいでした。最初は「どうしよう。過呼吸になる!」など緊張した様子のリーダーたちでしたが、いざ表敬訪問が始まると豹変? 知事の質問に皆々々と答えていました。YMCAのリーダーは頼もしい!!